

COMPASS 発達支援センター・飯塚

令和5年度

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年9月30日

公表日：令和6年4月19日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	5	4	十分なスペースを確保しており、机の配置や児童と職員間の適切な距離に十分な配慮をしています。	今後も療育スペースに関しては、療育により集中できる環境を整えるため、工夫を重ねてまいります。
	2	5	4	国の基準以上の人員を確保し、利用児童に合わせた配置に努めています。	今後も、サービスの質を確保できるよう、職員配置の確認と見直しを随時行ってまいります。
	3	9	9	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっています。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	現時点では、当事業所には車椅子を使用する児童はいませんが、今後、受け入れの際には環境や対応について協議し、検討してまいります。
	4	7	2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている。	今後も継続して、清潔な空間を保つために努力してまいります。
業務改善	5	7	2	業務改善を進めるためのPDC Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している。	いつでも、どの職員が担当しても同じ手順で安定した支援が行えるよう、話し合いを重ねてまいります。また、会議録を作成し、必要に応じて見直しを行うことで、一貫性を確保してまいります。
	6	6	3	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている。	今後も、保護者様からいただいたご意見を元に、より良い支援ができるように努めてまいります。
	7	6	3	事業所向け自己評価表及び保護者様向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	8	8	1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	7	2	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	今後も、定期的に研修の機会を設け、職員の資質や能力の向上に努めてまいります。
	10	8	1	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	アセスメント、ならびに担当者会議での情報共有を図り、より良い支援計画を作成できるよう努めてまいります。
	11	7	2	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	今後も、適切にアセスメントを行うことにより、状況の把握へと努めてまいります。
	12	9	9	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援）」「移行支援」」「家族支援」」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	児童の状況に応じて、児童発達支援ガイドラインに示された支援内容を選択しながら、保護者様のご意向も踏まえた計画を作成してまいります。また、担当者会議などで情報を共有し、計画の見直しを図ってまいります。
	13	9	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	今後も、支援計画に基づいた支援が実施されるよう、支援会議を行い、より良い支援に向けて努力してまいります。
	14	6	3	活動プログラムの立案をチームで行っている。	固定化しないようさまざまな活動プログラムを立案することで、児童が楽しく、意欲的に取り組めるよう職員間で話し合いをおこない工夫を行ってまいります。
	15	9	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	一人ひとりの特性や興味に合わせ、教材を選定し、プログラムが固定化されないように工夫しています。
	16	8	1	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	今後も、個別活動と集団活動を組み合わせ、個々に合った支援計画を作成してまいります。
	17	5	4	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	業務内容に関する共有や、児童の支援内容についての打ち合わせを定期的実施しています。
	18	2	7	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	家庭連携や支援内容について、適切に周知しています。
19	9	9	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	日々、児童ごとに個別経過記録を作成し、これを支援の検証や改善に役立てています。	
20	9	9	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	定期的なモニタリングを行い、児童の状況や保護者様のご意向に合わせた計画を策定できるよう、見直しを定期的実施しています。	
関係機関や保護者様との連携	21	8	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参加している。	各関係機関との連携は重要ですので、児童発達支援管理責任者が参加し、児童の状況を共有できるよう努めてまいります。
	22	8	1	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	関係機関と情報共有を行いながら、連携した支援をおこなっております。
	22	5	4	（医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	5	4	（医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合）児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	8	1	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	必要に応じて、幼稚園や保育園へ電話連絡や訪問を行い、情報共有に努め、より良い支援が実現できるよう配慮しています。
	26	8	1	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	相談支援員を中心とした連携をおこない、支援内容について情報共有、相互理解を図っております。
	27	8	1	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	各関係機関との連携に努め、担当者会議に参加し、助言を受けています。
	28	9	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流などの外部の児童と活動する機会がある。	通所を公にしたい保護者様もいらっしゃるため、感染症流行等の社会状況を考慮して保護者様のご意見を伺いながら、検討してまいります。
	29	9	9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	感染症流行等の社会状況を考慮して自立支援協議会の部会員として積極的に参加し、意見を出し合いながら地域活動を展開していく予定です。
	30	9	9	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている。	連絡帳や送迎時に様子をお伝えし、保護者様とも定期的に情報共有ができるよう努めております。
保護者様への説明責任等	31	2	7	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	家庭連携の際に子育てのお悩みやお困りごとへのアドバイスをさせていただいております。
	32	9	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	契約時に丁寧にご説明させていただいております。また内容に変更があった際にも、丁寧な説明を心がけています。
	33	9	9	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら保護者様からの説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている。	児童発達支援ガイドラインに基づき保護者様のご意向や児童の特性を踏まえて計画を作成しています。計画は丁寧に説明し、同意を得ております。
	34	9	9	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	連絡帳や送迎の際にご相談をお受けしたり、ご希望に応じて事業所での相談の場を設け、お悩みを丁寧にお聞きし、助言等に努めております。
	35	1	8	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している。	今年度は感染症流行の社会状況を鑑み、実施はしていません。
	36	9	9	子どもや保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	苦情受付窓口と苦情解決のそれぞれの担当を事業所に提示しております。また実際に苦情を受けた場合、その内容を職員間で共有し、問題解決に向けた迅速な対応ができるよう心がけております。
	37	9	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している。	毎月の「COMPASSだより」発行、公式Webサイトで情報を定期的に更新し、事業所内や活動の様子を発信してまいります。
	38	9	9	個人情報の取扱いに十分注意している。	鍵付きのキャビネットで書類の保管、管理をおこなっています。また使用済みの書類の破棄についてはシュレッダーを使用しています。
	39	9	9	障がいの意思の疎通や保護者様とのための配慮をしている。	児童には特性に合わせた支援方法で、情報伝達をおこなっています。保護者様に説明する際には、専門用語は避け、分かりやすく伝えられるよう心がけています。
	40	9	9	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	現在までは、地域住民をご招待する等の企画運営の機会はありませんでした。
非常時等の対応	41	9	9	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している。	各種マニュアルについては、事業所内に掲示しております。職員間でも共有できるよう定期的に研修をひらき、確認しております。
	42	9	9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	非常災害の発生に備え、火災、地震、風水害、不審者対応についての避難訓練を実施しております。
	43	9	9	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している。	アセスメントやモニタリング時に、服薬やてんかん発作など、児童の状況を確認しています。
	44	9	9	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている。	アレルギーについては初回アセスメントの際に保護者様から聞き取り、全職員への周知、情報共有を徹底し、医師の指示書がある場合は、指示書に基づいた対応に努めております。
	45	5	4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	ヒヤリハット事例が発生した場合には、報告書を作成し、勉強会を設け情報共有に努めてまいります。
	46	9	9	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	虐待防止の研修を実施し、虐待防止について周知徹底しています。
	47	8	1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	原則として契約で禁止となっておりますが、やむを得ず必要となる場合には、保護者様に十分な説明のうえ、承諾を得て支援計画に記載しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。